

01

## 加古川製造所ミルセンプラント製品、 コーシャ認証・ハラール認証を取得

加古川製造所(兵庫県加古川市)において、当社では国内初の香料原料となるミルセンの製造設備を2023年4月に完工し、操業しています。このミルセンを原料にした製品を様々なお客様に安心してお使いいただくために、ユダヤ教の戒律に準じた方法でつくられたことを示す「コーシャ認証」を、2023年7月に取得しました。また、イスラーム法に則って生産、提供されたものであることを示す「ハラール認証」を、同年10月に取得しました。

ミルセンは、再生可能な資源である「松」から得られるテレピン油の成分「ピネン」を出発原料として製造されるもので、主にアロマオイルや香料の原料として利用されています。

コーシャ認証、ハラール認証では、食品などの最終製品だけでなく、その原材料や製造過程まで厳しくチェックされるため、原料供給会社にも、製造会社と同様の厳格な対応が求められます。今後、グローバル基準に対応した原料供給を目指した取り組みを加速させていくとともに、テレピン油の商品開発を強化し、主力のロジンに次ぐパインケミカル(松の化学)の柱に育てたいと考えています。

02

## 当社の研究員、 日本ゴム協会より「最優秀発表賞」を受賞

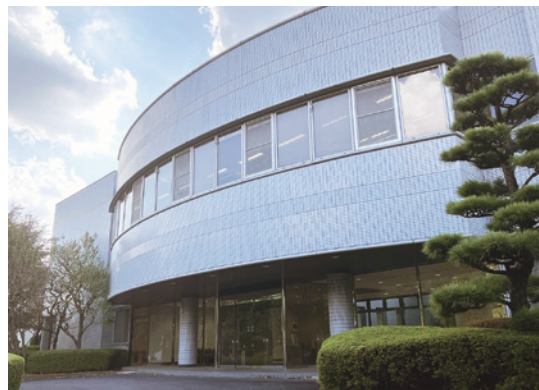
筑波研究所に所属している研究員が、2024年2月に開かれた(一社)日本ゴム協会関西支部主催第4回若手発表交流会にて「最優秀発表賞」を受賞しました。同支部では、若手の個人会員を対象に、各社の有するゴムに関わる技術・知識を共有し、各自の疑問や悩みを解決できるセミナーを開催しています。発表交流会は、参加者が発表者となり自身の保有する技術を伝え、聴講者となり他者の持つ技術を学ぶことで、互いに切磋琢磨し、スキルアップできる環境、関係づくりを目的としています。

今回表彰された内容は、松から得られるロジン(松やに)の変性技術を活かしたゴム用添加剤の開発に関わるもので、テーマの優位性、市場性、業界内での波及性から高い評価を得ました。当社では、研究開発者が積極的に情報発信することは、潜在顧客や業界関係者に有益な情報を伝えることになり、市場の発掘や研究テーマの深耕・拡充を推進し、研究者自身の能力開発にもつながると考えています。

03

## 先端技術開発室を新設

筑波研究所に、「先端技術開発室」を新設し、5~10年先の成果につながる長期テーマの発掘、研究開発活動を推進しています。当面、「導電性素材」および「バイオ」、2つのテーマに重点をおいて取り組んでいます。



筑波研究所(茨城県つくば市)

## ハリマ化成、 加古川市ゼロカーボンパートナーに選定

ハリマ化成は、創業の地である兵庫県加古川市と協働し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨、「ゼロカーボンパートナー」に選定されました。当該プログラムでは、加古川市が2022年に表明した「ゼロカーボンシティ宣言」に賛同する市内事業者が、市と協定を締結し、協力・連携をしながら、脱炭素に向けた取り組みを推進しています。また、加古川市が提供する「省エネ診断」を通じて、光熱費削減方法や再生可能エネルギー導入方策などといった環境保全活動の強化を図っていきます。

2023年10月に開かれたゼロカーボンパートナー証贈呈式には、加古川製造所長が出席し、岡田康裕加古川市長からゼロカーボンパートナーロゴが入った木製の盾をいただきました。

加古川製造所では、2005年から稼働しているバイオマス発電設備活用のほか、2023年にため池水上太陽光発電事業を開始し、再エネ導入支援メニュー「エネグリーンプラン」を導入するなど、温室効果ガス排出量削減に積極的に取り組んでいます。

これらの取り組みについて、2024年3月に兵庫県明石市で開かれた「持続可能なグリーン社会の実現」をテーマとしたイベントで紹介する機会をいただきました。同イベントは、環境省や明石コミュニティ創造協会などが主催しており、東播磨における市民活動と産官学共創を中心に講演、パネルディスカッションを行い、市民活動と企業、行政、大学との連携強化を目指しています。



(左から) 岡田加古川市長、  
藤本加古川製造所長



加古川市ゼロカーボンパートナー  
のロゴ

## ハリマ化成商事加古川営業所、 太陽光発電システムを導入

ハリマ化成商事加古川営業所は、2023年12月に太陽光発電システムを導入しました。同営業所は、倉庫業を運営しており、お客様のニーズに寄り添ったサービスで物流活動をサポートしています。この度、太陽光発電システムの導入により、営業所で使用する電力の一部をグリーンエネルギーに置き換え、省エネ取り組みの強化を図るとともに、将来的にはすべての電力を再生可能エネルギーで賄う計画を進めています。

その他国内外拠点でも太陽光発電システムを導入しています。2014年に伊保基地（兵庫県高砂市）、2018年にアルゼンチンの拠点、さらに2023年には加古川製造所で当社初のため池水上太陽光発電設備を導入し、温室効果ガス排出量の削減を進めています。



太陽光パネル設置風景

## 加古川製造所のマリーゴールド園、 にぎわう地域交流の場に

2019年に開設したマリーゴールド園では、約35万の花が咲き誇り、道行く人々にお楽しみいただいています。また、恒例行事として開催しているハロウィンやクリスマスイルミネーションには、地域の皆さんだけでなく、遠くから訪れる方も増えています。イベントごとに1,000人を超える来園者が参加され大いに盛り上がる様子が、



メディアやSNSでも取り上げられ、より多くの方にファンになっていただいています。さらに、2021年に整備したすいせんロードの花たちは、マリーゴールドを楽しめない寒い季節に次々と開花し、かわいらしい姿を見せてくれます。これからも頑張って、ハリマから元気を届けていきます!

最新の情報は、Instagramをご覧ください!



harima\_kakogawa  
ハリマ化成 加古川製造所

#ハリマ化成のハッシュタグでも検索して、ご覧いただけます。

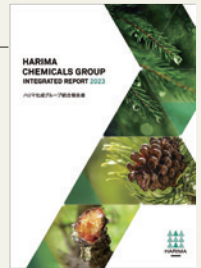


## PICK UP

### 当社初の統合報告書を発刊

2023年9月に、当社初の統合報告書を発刊し、ホームページに公開しています。「自然の恵みをくらしに活かす」という企業理念のもとに事業展開する当社が創出する社会的価値を、財務・非財務の両面からわかりやすく説明しています。

この統合報告書を、株主・投資家の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの方々との対話促進ツールとして活用するとともに、今後も中長期的な価値創造に取り組み、情報発信に努めていきます。



### 極美味ビーフカレーをご賞味ください

ハリマ食品の主力商品である「極美味ビーフカレー」は、コク深くスパイシーな「レギュラー」と、辛さを控えたフルーティーな甘さの「マイルド」を、食べ応えのある230g(1人前)で展開しています。

こだわり抜いた深い味を、ぜひご賞味ください。お買い求めの際は、ハリマ食品のオンラインショップをご利用ください。



www.harimafoods.com

### ゴルフ & スパリゾート「作州武蔵」をご紹介します

ハリマ化成商事が経営する「作州武蔵カントリー倶楽部」と「ホテル作州武蔵」は、岡山県美作市にあります。

ゴルフ場は、手入れの行き届いたコースとカントリーサイドならではの開放感で来場者を魅了し、岡山県内でトップクラスの集客力を誇ります。「ホテル作州武蔵」は、ゆったりとした客室74室のほか、天然温泉大浴場、テニスコートなどの施設も充実しています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



ゴルフ 0868-77-0153 ホテル 0868-77-1380

〒707-0124 岡山県美作市大町878 (美作I.Cより車で約8分)

www.sakushu-musashi.co.jp



## 公益財団法人 松籟科学技術振興財団、 2023年度助成研究者を発表



当社が支援を続ける松籟科学技術振興財団(理事長:長谷川吉弘、ハリマ化成グループ株式会社代表取締役社長)は、2024年3月に執り行われた研究助成金贈呈式において、2023年度の助成研究者を発表しました。

当財団は毎年、優れた研究者に対して、1件につき100万円の助成金を20件前後贈呈しており、2022年度までに累計792件、総額8億7,090万円を交付しています。今回は、各研究テーマに対してより充実した支援を行うために、助成金を200万円に増額したことで、助成金の累計は807件、総額9億90万円となりました。

松籟科学技術振興財団は、当社創業者である故長谷川末吉が、科学技術の振興と世界文化の発展を願って1983年に設立されました。これまでの研究助成金贈呈先には科学技術振興機構 野依良治研究開発戦略センター長と北海道大学 鈴木章名誉教授、二人のノーベル化学賞受賞者がいらっしゃいます。助成金受領者の研究が大きなイノベーションを生み、さらなるノーベル賞受賞者が出ることを期待しながら、今後も助成、奨励事業を通じて科学技術の振興に貢献していきます。

## 大阪・関西万博を応援



©Expo2025

ハリマ化成は、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)より、実施した寄付に対して2024年3月に感謝状をいただきました。

当社は、地元関西で開催される大阪・関西万博が大いに盛り上がることを願い、社会貢献活動の一貫として協賛しています。



**ハリマ化成グループ株式会社 HARIMA CHEMICALS GROUP, INC.**

[東京本社] 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-8-4 TEL.03-5205-3080 FAX.03-3241-3035

[大阪本社] 〒541-0042 大阪府中央区今橋4-4-7 TEL.06-6201-2461 FAX.06-6227-1030

グローバルネットワーク

[国内拠点] 兵庫・茨城・宮城・埼玉・静岡・愛媛・岡山・千葉・広島

[海外拠点] チェコ・イギリス・ベルギー・オランダ・中国・韓国・マレーシア・台湾・インド・ニュージーランド・アメリカ・ブラジル・アルゼンチン



www.harima.co.jp